

東南アジア、南アジア、中南米で流行中！！

# 蚊が媒介する感染症に注意！

海外渡航を予定している方は、渡航先での感染症の発生状況を確認し、安全で快適に滞在・帰国できるように、**現地で蚊に刺されないよう十分な対策をしましょう！**

**蚊が媒介する感染症の流行地：特にアジア、中南米、カリフ海諸国などの熱帯・亜熱帯地域**

- ★ 日本では、海外渡航者の Dengue 熱感染が増えています。
- ★ 中南米やアジアの一部ではジカ熱が流行しており、妊婦の感染により胎児の小頭症などを引き起こす可能性があるため妊娠中の方は流行地への渡航を控えること、性行為による感染を予防することなどが注意喚起されています。
- ★ 日本に広く生息するヒトスジシマカ（いわゆるヤブカ的一种）はこれらの感染症を媒介することができるため、**日本での感染拡大を防ぐために、ウイルスを持ち込まないことが重要です。**

## 蚊が媒介する感染症とは

ウイルスなどの病原体を持った蚊に刺されることで感染し、高熱や発疹などの症状が出る感染症です。  
(黄熱、日本脳炎、ウエストナイル熱、Dengue 熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症 (ジカ熱)、マラリアなど)  
Dengue 熱、チクングニア熱、ジカ熱などは、予防接種 (ワクチン) や治療薬がありません。

予防するには、蚊に刺されないようにすることが大切です。

※ ジカ熱は、母子感染や性行為感染を起こす場合があります。  
流行地での滞在中は性行為の際にコンドームを使用するか、性行為を控えましょう。

3～7日 (最大2週間程) の潜伏期間を経て発症

【症状】

発熱、関節痛、発疹、結膜炎、だるさなど  
(感染症の種類により多少の違いがあります。)



## 蚊に刺されないよう対策をしましょう

渡航先では、次のことに注意しましょう！

- 長袖・長ズボンを着用し、肌を露出しないように心がけよう！
- 素足でのサンダル履きは避けよう！
- 虫よけ剤、蚊取線香などを上手に使用しよう！(説明書に従い適切に使用しよう)
- 屋内でも油断大敵！蚊帳(かや)を網戸を使って、蚊に刺されないよう注意しよう！



## 帰国後の注意

- ◆ 感染しても症状が出ない、又は出るまでに時間がかかる場合があるため、無症状でも以下の点に注意しましょう。
  - ・ 帰国日から2週間程度は蚊に刺されないように注意し、4週間は献血を自粛すること
  - ・ ジカ熱の流行地から帰国した男性は、症状の有無に関わらず、最低8週間<sup>\*1</sup> (パートナーが妊婦の場合は妊娠期間中) は安全な性行動 (コンドームの使用) をとるか性行為を控えること
  - ・ ジカ熱の流行地から帰国した女性は、症状の有無に関わらず、最低8週間<sup>\*2</sup> は妊娠を控えること
- ◆ もしも具合が悪くなったなら、市販の解熱鎮痛薬などは服用しないで、すぐに病院を受診しましょう。問診では、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無などを医師に伝えましょう。症状が治まるまでは不要な外出を避け、蚊に刺されないように特に注意して過ごしてください。

※1 世界保健機関 (WHO) は、ジカウイルス病の症状が見られた場合には6か月間を推奨

※2 世界保健機関 (WHO) は、パートナーにジカウイルス病の症状が見られた場合には6か月間を推奨

★旅行前に渡航先で流行っている感染症をチェック!!★

【厚生労働省検疫所】 F O R T H トップページから渡航先をクリック！

<http://www.forth.go.jp/>

横浜市健康福祉局健康安全課 (横浜市保健所)

TEL 045-671-2463 FAX 045-664-7296

平成 28 年 6 月 17 日時点